

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県 美濃市

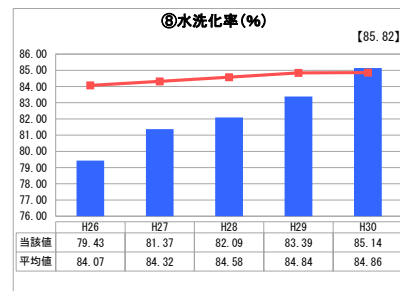
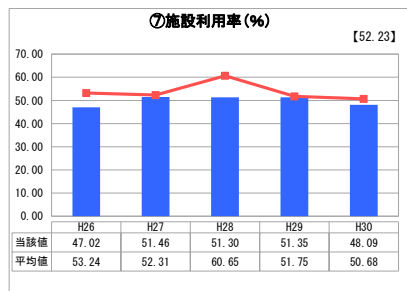
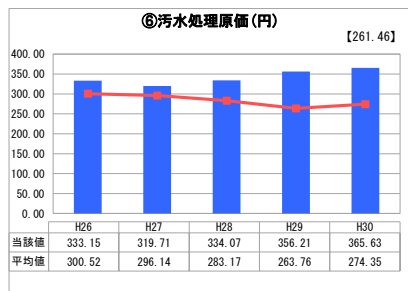
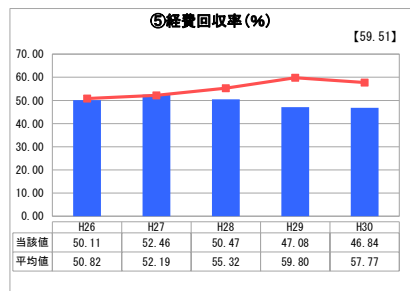
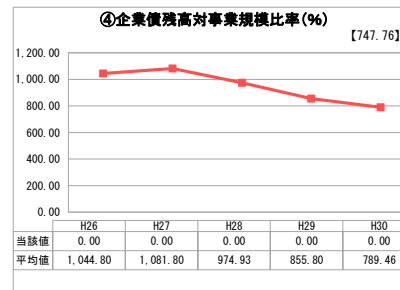
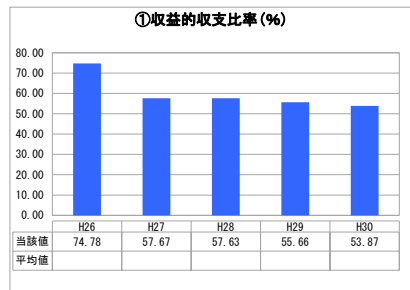
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	16.49	90.23	2,721

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
20,752	117.01	177.35
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
3,404	3.18	1,070.44

グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率
当該値は年々低下しており、適正な使用料収入の確保や、適切な維持管理によるコスト削減など、経営改善に向けた取り組みを行う必要があります。

④企業債残高対事業規模比率
企業債残高はあるものの、一般会計が負担すべき（一般会計からの繰入を賄うべき）分は除いてあるため、企業債残高対事業規模比率は0となっています。

⑤経費回収率
人口減少に伴い料金収入が減少するため、維持管理費の割合が増加し、経費回収率が低下しました。100%を大きく下回っており、適正な使用料収入を確保する必要があります。

⑥汚水処理原価
人口減少に伴い有収水量が減少しており、汚水処理原価は増加しています。経費の削減を図り、最適な処理方法を検討していく必要があります。

⑦施設利用率
水洗化率は増加したものの、人口の減少により、処理水量が減少したため当該値は低下しました。接続率の向上について検討する必要があります。

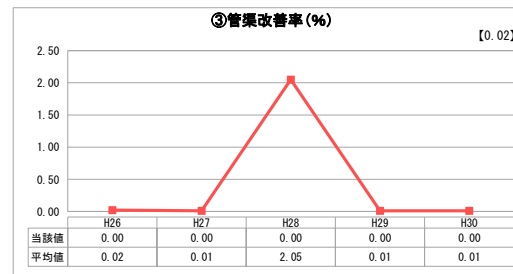
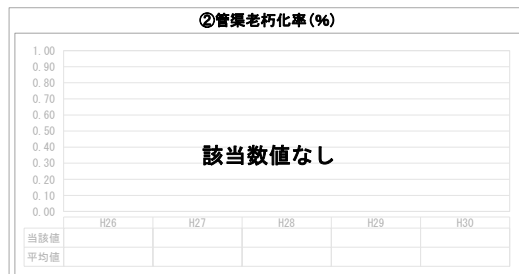
⑧水洗化率
当該値は年々上昇し、類似団体の平均値と同水準になりました。未普及促進アクションプランの策定や計画的な啓発活動により更なる接続率の向上を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率
供給開始は平成4年であり、現時点では管渠の更新は必要ないですが、電気・機械設備は更新時期を迎えています。管路の将来的な更新時期に備え、老朽化の状況や利用状況の現状データ収集・整理の必要があります。

最適化構想や美濃市農業集落排水事業経営戦略等の計画を着実に実施し、資産の適正管理に努めます。

2. 老朽化の状況



全体総括

今後、増加する処理コストを考えると、公共施設等（建築物施設、インフラ施設）の全体を把握し、更新・統廃合などを計画的に行うことにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の最適な配置を実現する公共施設等総合管理計画に基づき適正な維持管理、適正な汚泥処理を行っていく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。